

2040年問題

を乗り越えることができるか
—医療を中心に考えてみよう—

Web予約
PC・モバイル共通



<http://bit.ly/31tUCZz>

日 2019年11月21日 木
時 19:00~21:00 (18:30開場)

主催 土田武史さん
早稲田大学名誉教授

会場 大竹財団会議室
東京都中央区京橋1-1-5セントラルビル11F

参加費 一般=500円
学生、大竹財団会員=無料
定員30名【要予約】



Designed by Freepik

これまで社会保障の中心課題は2025年問題でした。団塊の世代が後期高齢者になる2025年を目途に年金などの財源をいかにして確保するかという問題です。しかし最近、2040年にはさらに難しい問題が待ち構えていることが見えてきました。

2040年には団塊ジュニアが65歳以上となり、2042年には高齢者数がピークに達します。その一方、少子化にともない就業人口は現在より1000万人近く減少します。団塊ジュニアは就職氷河期などの影響で経済的に脆弱であるうえに、人手不足が重なり、医療や介護のサービスを受けられない人が増大する恐れがあります。これらの人手不足は財源以上に深刻な問題です。

2040年問題にどう対応していくのか。医療問題を中心に、課題の特性、政府の対応、望まれる対応策などを一緒に考えてみたいと思います。

【土田武史さんプロフィール】

早稲田大学名誉教授、医療経済研究・社会保険福祉協合理事、元中医協会長。主に日独の医療保険制度を研究編著書として『ドイツ医療保険制度の成立』、『社会保障改革—日本とドイツの挑戦』、『日独社会保障改革の回顧と展望』、『社会保障論』等。

本講演会の主催・お問い合わせ

一般財団法人 大竹財団

東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11階

JR東京駅八重洲中央口から徒歩4分(八重洲地下街24番出口右階段すぐ)、
東京メトロ京橋駅7出口から徒歩3分、東京メトロ日本橋駅B3出口から徒歩4分

<https://ohdake-foundation.org> ☎ 03-3272-3900



Google
マップ
QRコード

スマートフォンのQRコードアプリで読み取ると、現在地から会場までのアクセス方法が検索できます

